

さとうきび増産に向けた取組の実績及び評価

沖縄県伊良部島

増産プロジェクトにおける令和5年産生産計画の達成状況及び今後の取組状況													
生産計画の 達成状況等	1 令和5年産の生産実績												
		収穫面積 (ha)				単収 (kg/10a)				生産量 (t)			
		夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計
	H28年産実績	567	25	307	899	9,445	6,252	6,787	8,449	53,553	1,563	20,837	75,953
	H29年産実績	570	21	428	1,020	6,711	4,031	4,467	5,712	38,261	860	19,133	58,254
	H30年産実績	407	28	516	951	6,315	4,134	4,461	5,245	25,706	1,140	23,014	49,859
	R元年産実績	549	18	403	970	6,043	3,833	4,010	5,158	33,178	690	16,162	50,030
	R2年産実績	506	22	452	979	8,004	6,322	6,221	7,144	40,491	1,359	28,086	69,936
	R3年産実績	484	28	539	1,051	6,714	4,815	5,812	6,201	32,498	1,348	31,324	65,170
	R4年度実績	399	22	680	1,101	7,494	4,645	4,418	5,537	29,900	1,008	30,054	60,962
	R5年増産計画	491	20	450	961	7,000	4,500	4,900	5,965	34,370	900	22,050	57,320
	R5年増産実績	378	25	696	1,098	6,085	4,558	1,121	5,031	22,997	1,121	31,123	55,241
	(対計画比%)	(77.0)	(123.0)	(154.6)	(114.3)	(86.9)	(101.3)	(22.9)	(84.3)	(66.9)	(124.6)	(141.1)	(96.4)
	(対前年比%)	(94.7)	(111.8)	(102.3)	(99.7)	(81.2)	(98.1)	(25.4)	(90.9)	(76.9)	(111.2)	(103.6)	(90.6)
	R7年産増産計画	650	100	200	950	7,700	5,500	5,500	7,000	50,000	5,500	11,000	66,500
2 その他指標の動向 令和4年産→令和5年産													
・株出栽培の割合		61.8%	→	63.3%	・さとうきび作農家戸数		900戸	→	899戸				
・平均糖度		14.4度	→	15.1度									

増産目標に対する位置づけ	令和5年産 生産計画及び実績については、以下のとおりであった <table><tr><td></td><td>収穫面積</td><td>単収</td><td>生産量</td></tr><tr><td>(計画)</td><td>961ha</td><td>5,965kg/10a</td><td>57,320t</td></tr><tr><td>(計画)</td><td>1,098ha</td><td>5,031kg/10a</td><td>55,241t</td></tr></table> 令和5年度当初増産目標は、伊良部島で1,025ha、単収5.7t/10a、生産量58,330tを計画していた。関係者一体となった増産に向けた取り組みや優良種苗の普及等を行い増産を目指した。株出しの割合が多い事に加え、夏場の生育旺盛期や生育後期の干ばつ等の気象要因もあり目標値には届かず、伊良部島全体で増産目標に対し55,241t(対計画比94.7%)の実績となっている。令和5年度は、肥培管理、堆肥の活用、心土破碎の必要性や株出し管理の徹底等、周知を図り増産に向けた取り組みを進めている。		収穫面積	単収	生産量	(計画)	961ha	5,965kg/10a	57,320t	(計画)	1,098ha	5,031kg/10a	55,241t
	収穫面積	単収	生産量										
(計画)	961ha	5,965kg/10a	57,320t										
(計画)	1,098ha	5,031kg/10a	55,241t										
課題	① 基盤整備未整備地区での干ばつ対策については、干ばつ対策協議会を開きセーフティネット事業によるかん水作業を実施 ② 土壌病害虫被害の軽減 ③ 偏りのない品種構成の適正化を図る ④ 製糖期間が長期に及んだこと												
令和5年産における取組方針	主なさとうきび生産振興策として ① 農地の利用集積及び認定農業者と農業法人の育成の強化 ② 機械化一貫体系(植付作業、管理作業)推進 ③ 優良種苗安定確保事業を通した奨励品種並びに地域適正品種の普及促進 ④ 土づくりに対する啓発活動の継続 ⑤ 病害虫防除対策啓発活動の継続実施												

(1)経営基盤の強化

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																																						
①効率的な さとうきび経営 の育成と労働 力の確保	【実施した取組】 ・オペレータの育成	・収穫後の株出作業が行われていないほ場について、株出管理作業の徹底 ・後継者(担い手)の育成を推進 ・農地の利用集積及び認定農業者と生産法人の育成強化																																																						
	【目標の達成状況】																																																							
	<table><tr><td></td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R元</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>認定農業者</td><td>10</td><td>9</td><td>12</td><td>13</td><td>5</td><td>7</td><td>17</td><td>4</td></tr><tr><td>農業法人</td><td>15</td><td>15</td><td>18</td><td>20</td><td>54</td><td>114</td><td>114</td><td>24</td></tr></table>			H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	認定農業者	10	9	12	13	5	7	17	4	農業法人	15	15	18	20	54	114	114	24																											
			H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5																																														
	認定農業者		10	9	12	13	5	7	17	4																																														
農業法人	15	15	18	20	54	114	114	24																																																
注) 宮古島市全体の値																																																								
【課題】 ・収穫後の耕起作業や株出管理作業の整備とオペレータ確保 ・後継者育成(担い手)と農地の利用集積																																																								
②農業共済制 度への加入 促進	【実施した取組】 ・要件審査申請時における共済加入促進 ・集会等で制度の説明会を開催 ・県の支援事業を活用し推進員及び職員による個別訪問	・共済組合職員による加入推進を継続実施し、関係機関の連携で周知徹底を図る ・要件審査申請実施時に共済への加入促進を実施																																																						
	【目標の達成状況】																																																							
	<table><tr><td></td><td>H28 (29年産)</td><td>H29 (30年産)</td><td>H30 (R元年産)</td><td>R元 (R2年産)</td><td>R2 (R3年産)</td><td>R3 (R4年産)</td><td>R4 (R5年産)</td><td>R5 (R6年産)</td></tr><tr><td>加入戸数 (戸)</td><td>441</td><td>448</td><td>403</td><td>398</td><td>381</td><td>381</td><td>365</td><td>360</td></tr><tr><td>戸数引受率 (%)</td><td>42.5</td><td>47.8</td><td>43.4</td><td>44.1</td><td>41.5</td><td>85.0</td><td>39.7</td><td>40.0</td></tr><tr><td>引受面積 (ha)</td><td>460</td><td>407</td><td>401</td><td>420</td><td>442</td><td>442</td><td>331</td><td>329</td></tr><tr><td>面積引受率 (%)</td><td>45.1</td><td>42.8</td><td>41.3</td><td>42.9</td><td>42.1</td><td>45.2</td><td>31.5</td><td>29.9</td></tr><tr><td>共済金額 (千円)</td><td>347,507</td><td>328,155</td><td>348,406</td><td>346,795</td><td>348,301</td><td>355,049</td><td>－</td><td>13,478,926</td></tr></table>			H28 (29年産)	H29 (30年産)	H30 (R元年産)	R元 (R2年産)	R2 (R3年産)	R3 (R4年産)	R4 (R5年産)	R5 (R6年産)	加入戸数 (戸)	441	448	403	398	381	381	365	360	戸数引受率 (%)	42.5	47.8	43.4	44.1	41.5	85.0	39.7	40.0	引受面積 (ha)	460	407	401	420	442	442	331	329	面積引受率 (%)	45.1	42.8	41.3	42.9	42.1	45.2	31.5	29.9	共済金額 (千円)	347,507	328,155	348,406	346,795	348,301	355,049	－	13,478,926
			H28 (29年産)	H29 (30年産)	H30 (R元年産)	R元 (R2年産)	R2 (R3年産)	R3 (R4年産)	R4 (R5年産)	R5 (R6年産)																																														
	加入戸数 (戸)		441	448	403	398	381	381	365	360																																														
	戸数引受率 (%)		42.5	47.8	43.4	44.1	41.5	85.0	39.7	40.0																																														
	引受面積 (ha)		460	407	401	420	442	442	331	329																																														
	面積引受率 (%)		45.1	42.8	41.3	42.9	42.1	45.2	31.5	29.9																																														
	共済金額 (千円)		347,507	328,155	348,406	346,795	348,301	355,049	－	13,478,926																																														
	注) R4、R5 年産の数値については概算値																																																							
【課題】 ・土地基盤整備が進み被害に対する準備意識が低くなった																																																								

(2)生産基盤の強化

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																				
①気象災害に強い生産基盤の整備	【実施した取組】 ・防風林の日啓発活動 ・土地改良事業の迅速な実施	・未整備地区への早期事業導入に向けた説明会等の実施 ・防風林の日の啓発活動を継続 ・畑地かんがい整備等により水の確保を図るとともに、干ばつ時のかん水費用の一部助成																																				
	【目標の達成状況】 (単位: %) <table><tr><td></td><td>H28 実績</td><td>H29 実績</td><td>H30 実績</td><td>R元 実績</td><td>R2 実績</td><td>R3 実績</td><td>R4 実績</td><td>R5 見込</td></tr><tr><td>ほ場整備率</td><td>58.0</td><td>59.3</td><td>60.8</td><td>61.7</td><td>62.9</td><td>64.0</td><td>66.3</td><td>63.3</td></tr><tr><td>水源整備率</td><td>83.1</td><td>83.1</td><td>83.1</td><td>83.1</td><td>83.1</td><td>83.1</td><td>84.6</td><td>84.6</td></tr><tr><td>畑地かんがい整備率</td><td>67.5</td><td>68.4</td><td>68.5</td><td>69.4</td><td>70.1</td><td>71.0</td><td>72.7</td><td>72.8</td></tr></table> 注) 整備率は宮古島市全体の値			H28 実績	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 見込	ほ場整備率	58.0	59.3	60.8	61.7	62.9	64.0	66.3	63.3	水源整備率	83.1	83.1	83.1	83.1	83.1	83.1	84.6	84.6	畑地かんがい整備率	67.5	68.4	68.5	69.4	70.1	71.0	72.7	72.8
			H28 実績	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 見込																												
	ほ場整備率		58.0	59.3	60.8	61.7	62.9	64.0	66.3	63.3																												
	水源整備率		83.1	83.1	83.1	83.1	83.1	83.1	84.6	84.6																												
畑地かんがい整備率	67.5	68.4	68.5	69.4	70.1	71.0	72.7	72.8																														
	【課題】 ・土地基盤整備や畑地かんがい整備が遅れている																																					

②機械化一貫 体系の確立	【実施した取組】 ・補助事業を活用した、ハーベスタ、トラクタ、株出作業機、植付機等の導入による機械化一貫体系を推進 ・さとうきび生産性向上緊急支援事業を活用したオペレーター等雇用経費助成 【目標の達成状況】 <table><tr><td></td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R元</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>ハーベスタ 稼働台数</td><td>16</td><td>20</td><td>22</td><td>22</td><td>24</td><td>27</td><td>20</td><td>20</td></tr><tr><td>ハーベスタ 収穫面積</td><td>444</td><td>942</td><td>685</td><td>718</td><td>742</td><td>847</td><td>923</td><td>971</td></tr><tr><td>ハーベスタ 収穫率(面積)</td><td>49.3</td><td>92.4</td><td>72.0</td><td>74.0</td><td>75.8</td><td>80.6</td><td>83.9</td><td>88.4</td></tr></table> 【課題】 ・収穫時期のオペレーター、作業補助員の確保 ・小型ハーベスターでは、夏植の収穫が困難(高単収ほ場)な状況が見られる ・植付作業体系の確立		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	ハーベスタ 稼働台数	16	20	22	22	24	27	20	20	ハーベスタ 収穫面積	444	942	685	718	742	847	923	971	ハーベスタ 収穫率(面積)	49.3	92.4	72.0	74.0	75.8	80.6	83.9	88.4	・収穫時期、収穫後の管理作業オペレータの確保 ・高単収ほ場の効率的な収穫等を図るため、 小型ハーベスタとともに中型ハーベスタの導入 を検討 ・機械化一貫体系(植付作業、管理作業)推進
	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5																														
ハーベスタ 稼働台数	16	20	22	22	24	27	20	20																														
ハーベスタ 収穫面積	444	942	685	718	742	847	923	971																														
ハーベスタ 収穫率(面積)	49.3	92.4	72.0	74.0	75.8	80.6	83.9	88.4																														
③地力の増進	【実施した取組】 ・さとうきび生産性向上緊急支援事業を活用した心土破碎作業等への助成(糖業振興会) ・有機質肥料・緑肥種子補助(市単独補助) ・緑肥種子の購入及びすき込みの補助(JA事業) 【課題】 ・土づくりの意識向上 ・堆肥等を活用した土作り対策の取組、堆肥等の散布機械の不足	・製糖工場から出るトラッシュ及びバガス等の 活用を推進する ・土づくりに対する啓発活動の継続 ・散布機械の導入を促進																																				

(3) 技術対策

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																																															
①病害虫対策	【実施した取組】 ・セーフティーネット基金事業の活用（農薬補助） ・病害虫農薬の補助（市単独補助） ・チランによる病害虫対策啓蒙活動 【課題】 ・黒穂病に対する農家の認識不足 ・アオドウガネ等防除対策における植付時の粒剤施用の徹底、適期肥培管理による耕種的防除の推進 ・株出ほ場からの採苗が多く見られるため、種苗更新が必要	・病害虫農薬補助の継続実施 ・新植夏植え時の黒穂病対策（罹病株の早期抜き取り）の周知徹底 ・アオドウガネ誘殺灯の一斉設置による防除（5～7月） ・病害虫防除対策啓発活動の継続実施																																																															
②優良品種の選択・普及	【実施した取組】 ・県の優良種苗安定確保事業による優良種苗の普及推進 ・台風、干ばつ等に抵抗性のある品種の導入による品種構成の適正化を図る ・新品種の実証展示ほの活用により地域適正品種の選定 【目標の達成状況】 (単位:%) <table><tr><th></th><th>H28 (実績)</th><th>H29 (実績)</th><th>H30 (実績)</th><th>R元 (実績)</th><th>R2 (実績)</th><th>R3 (実績)</th><th>R4 (実績)</th><th>R5 (実績)</th></tr><tr><td>農林8号</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.6</td><td>0.3</td><td>0.3</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>農林15号</td><td>1.1</td><td>1.0</td><td>0.3</td><td>－</td><td>0.3</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.1</td></tr><tr><td>宮古1号</td><td>0.2</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.3</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>52.1</td></tr><tr><td>農林21号</td><td>3.0</td><td>3.9</td><td>3.2</td><td>2.8</td><td>4.3</td><td>4.3</td><td>5.2</td><td>5.3</td></tr><tr><td>農林25号</td><td>3.9</td><td>－</td><td>－</td><td>2.7</td><td>2.5</td><td>1.7</td><td>3.8</td><td>1.5</td></tr><tr><td>農林27号</td><td>86.0</td><td>63.1</td><td>67.0</td><td>77.3</td><td>76.5</td><td>81.5</td><td>79.7</td><td>78.6</td></tr></table> 【課題】 ・偏った品種構成（農林27号が6割）を占めており、適正な品種構成の検討及び切替が必要		H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)	農林8号	0.2	0.2	0.2	0.6	0.3	0.3	－	－	農林15号	1.1	1.0	0.3	－	0.3	0.2	0.2	0.1	宮古1号	0.2	0.1	0.1	0.3	－	－	－	52.1	農林21号	3.0	3.9	3.2	2.8	4.3	4.3	5.2	5.3	農林25号	3.9	－	－	2.7	2.5	1.7	3.8	1.5	農林27号	86.0	63.1	67.0	77.3	76.5	81.5	79.7	78.6	・優良種苗安定確保事業を通じた奨励品種並びに地域適正品種の普及促進 ・品種構成の適正化を図り普及、導入を図る
	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)																																																									
農林8号	0.2	0.2	0.2	0.6	0.3	0.3	－	－																																																									
農林15号	1.1	1.0	0.3	－	0.3	0.2	0.2	0.1																																																									
宮古1号	0.2	0.1	0.1	0.3	－	－	－	52.1																																																									
農林21号	3.0	3.9	3.2	2.8	4.3	4.3	5.2	5.3																																																									
農林25号	3.9	－	－	2.7	2.5	1.7	3.8	1.5																																																									
農林27号	86.0	63.1	67.0	77.3	76.5	81.5	79.7	78.6																																																									

③栽培技術の普及等	【実施した取組】 ・さとうきび講習会 ・台風後の除塩のため適切なかん水作業実施の呼びかけ 【課題】 ・品種にあった肥培管理の徹底 ・株出栽培の急激な増加に対して、十分な株出管理作業が実施されておらず、低単収	・新植夏植栽培を行う農家を支援する
-----------	---	-------------------